

青森県薬剤師会上十三支部研修会及び新年会 開催

広報・情報委員会 宇井 靖

毎年恒例のイベントとなっております青森県薬剤師会上十三支部の研修会・新年会が、平成31年1月24日（木）三沢市ホテルグランヒルつたやにて開催されました。

本年は、特別講演として、三沢市立三沢病院 外科医長池永 照史郎一期 先生をお招きし、「当院における消化器外科治療 ～炎症性腸疾患からロボット手術まで～」と題しご講演頂きました。

本講演前半では、虫垂炎や胆のう炎等の炎症性腸疾患における、重症度別の治療指針についてガイドラインを中心に紹介頂きました。患者さんの生活スタイルや重症度により、抗生物質による保存的治療や外科的切除の適応が異なる理由について、分かりやすく紹介頂き、治療選択の多様性について深く知ることができました。

後半では、県内で3台目となる最新の手術支援ロボットである da Vinci（ダヴィンチ）について紹介頂きました。以前までの、2Dによる鏡視下手術から3Dによる立体画像による手術を行えるようになった点から、より侵襲性の少ない精度の高い手術を行うことができる点について画像も交えながら紹介頂き、最新の医療について知る機会を得ることができました。

新年会では、近年、伊藤支部長の発案により始まったくじ引きによる抽選会も行われ、恒例の行事として定着してきました。今年は特賞として、温泉ペア宿泊券と景品も益々パワーアップしており、以前にも増して、多くの薬剤師の先生方に集まり頂き、日頃のお互いの労を讃えながら賑やかに会を執り行うことができました。今後、薬剤師は地域に根差した薬局を目指すためにも、より一層団結が求められます。こういった会を通し、お互い情報交換することで、より患者さん目線での薬剤師業務が行われるようになるための絶好の機会になると思われました。

